

第 22 回丸亀城石垣崩落対策本部会議録

1 開催日時 令和 2 年 2 月 1 7 日（月）午前 1 0 時 1 5 分～午前 1 0 時 4 5 分

2 開催場所 本館 3 階「特別会議室」

3 議 事

(1) 丸亀城石垣復旧専門部会での審議の報告について（工事・財政分科会）

① 現時点での工事工程について

- ・丸亀城石垣復旧専門部会（2/7）の内容について報告

現時点での工事工程について、三の丸石垣解体と斜面安定工事を開始し 2/14 時点で上から 4 段解体した。予算上、H30 年度繰越、R01 年度、R02 年度予算で三の丸石垣解体の工事を 8 月中旬まで行う予定。

- ・令和 2 年度事業費要望額 10.5 億円は文化庁から満額確保の回答を得ており、当初申請を 3 億円でやっている。残りの申請は帯曲輪石垣解体工事、崩落石材回収工事の準備ができたなら行う予定としている。

- ・令和 2 年度中に帯曲輪石垣解体工事、崩落石材回収工事を終えたいと考えている。

→三の丸石垣解体工事はいつ終わるのか。（市長）

- ・解体と斜面安定を同時並行で行い、8 月の盆前に終わる予定となっている。

→帯曲輪石垣の解体が 2 年度末で終わる。当初の予定どおりでいいのか。（市長）

- ・当初の予定通りと考えている。

② 帯曲輪石垣の解体範囲について

- ・専門部会に 3 案提示し、今後、取り外しの状況により範囲が変わる可能性があるという条件付きで、K 面は緑線、F・G・H 面は緑線から赤線の範囲で設計を進めることになった。

→最初の想定より広がったのか。（市長）

- ・K 面は狭い範囲での解体。G 面は孕み出しがあるので一番広い範囲で検討する。

(2) 石垣復旧 PR 間運営小会議について（工事・財政分科会）

- ・毎月第 1 庁議の翌々日に運理小会議を開く事とし、2/6 開催した。小会議で提案・指摘された案件の検討を行い、具体的な案を本部会に諮る。承認後、実施に移すサイクルを繰り返す。

→展示内容の写真や進捗状況を職員が庁内 LAN で見ることができるか。（市長）

- ・全庁共用、対策本部会のフォルダ[※]にまとめるなど、方法を考える。

・PR館来館者が手軽に持ち帰れるものとして、工事のPRや出土品を紹介する名刺サイズの「石垣カード」作成を考えている。

→名刺サイズは小さい。デザインが不明なのでイメージがつかみにくい。(市長)

・イメージとあわせて次回提案する。

(3) 丸亀城復旧プロジェクトオリジナルフレーム切手について (広報・活用分科会)

・日本郵便株式会社から丸亀城石垣復旧 PR のためのオリジナルフレーム切手作成の提案があったので作成したい。寄附付きは総務省の許可に1年を要するため断念した。画像提供代として4～5万円が市に支払われ、小額だがPRの効果が期待できる。1,000部作成、四国の郵便局で販売、価格は1,400円程度。販売開始は4月。市長への贈呈式も行いたい。

→郵便局以外で販売できないか。(市長)

・郵便局だけになる。簡易郵便局でも販売しない。

→どれだけ売れても丸亀市に入るお金は一定か。(市長)

・丸亀市に渡すお金を含んだ販売価格になる。

→好評の場合、追加はあるのか。(ボートレース事業局次長)

・最初に決めたとおりの部数になる。

4 出席状況

(1) 本部構成者 (第3条)

職	氏名	出欠
市長	梶 正 治	○
副市長	徳 田 善 紀	欠
教 育 長	金 丸 眞 明	欠
モーターボート 競走事業管理者	大 林 諭	欠
市長公室長	横 田 拓 也	○
総務部長	栗 山 佳 子	○
健康福祉部長	宮 本 克 之	○
こども未来部長	石 井 克 範	○
生活環境部長	小 山 隆 史	○
都市整備部長	吉 本 博 之	○
産業文化部長	山 地 幸 夫	○
ボートレース 事業局次長	矢 野 浩 三	○
教 育 部 長	川 田 良 文	代

消 防 長	田 中 道 久	○
議 会 事 務 局 長	渡 辺 研 介	○

(2) 関係職員

市長公室職員課長	井 上 孝 敏
市長公室秘書政策課長	窪 田 徹 也
市長公室秘書政策課副課長	谷 本 智 子
市長公室秘書政策課政策推進担当長	野 本 政 宏
市長公室秘書政策課主査	宇 野 大 志 郎
総務部財務課長	宮 西 浩 二
教育部総務課長	岸 上 直 美

(3) 事務局

教育部文化財保存活用課副課長	東 信 男
教育部文化財保存活用課丸亀城管理室長	上 甲 育 司
教育部文化財保存活用課丸亀城管理室主査	真 鍋 和 江